

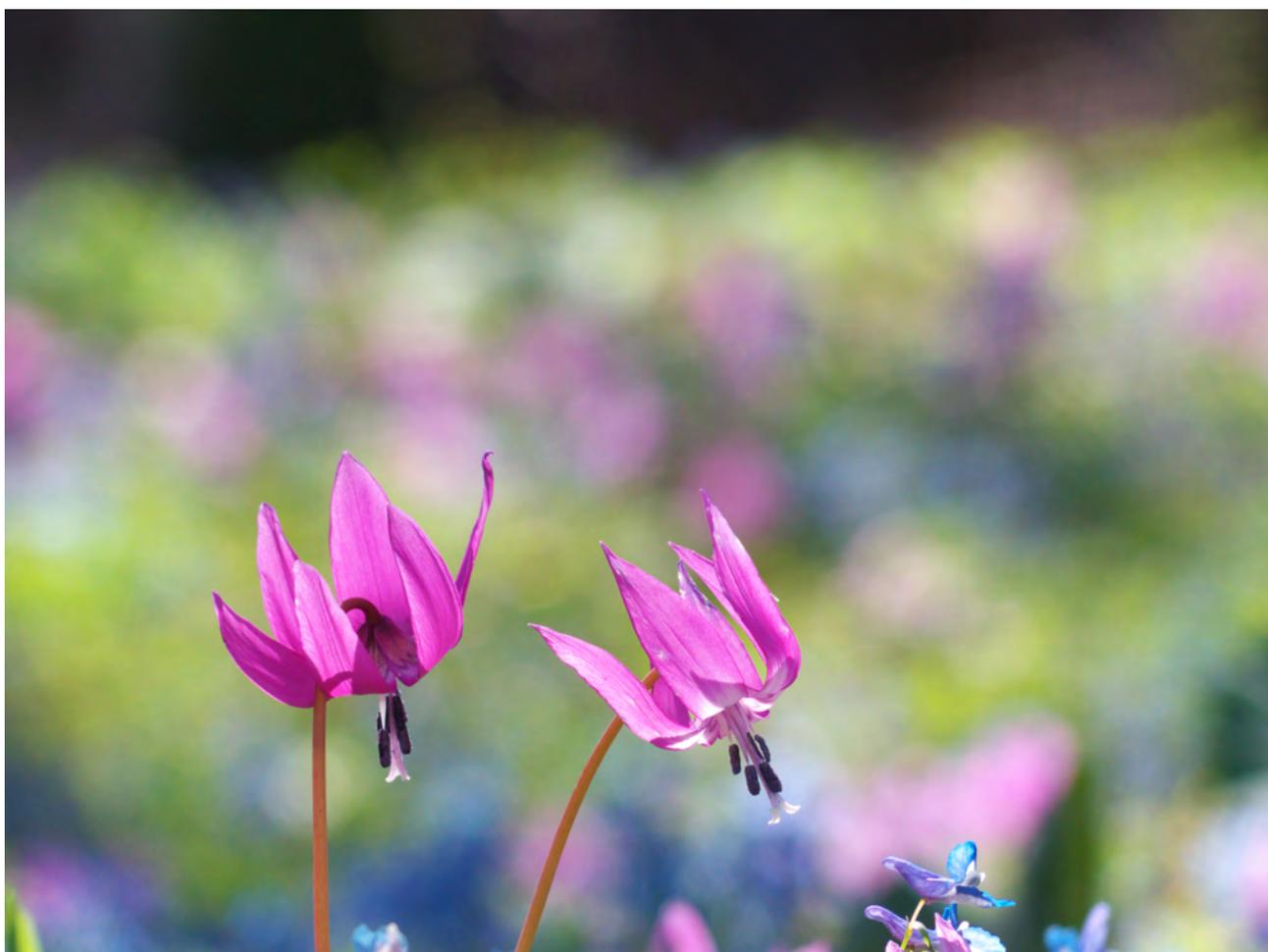
患者サポートセンターだより

Regional alliances and support

(旧 地域連携・がん相談支援センター便り)

2017

57号



「カタクリの花」 撮影者：放射線科部長 永倉久泰

目次

1. 新年度を迎えて
2. 事務部長就任のご挨拶
3. 新健康管理センター棟のご案内
5. 看護部次長 就任挨拶
新任医師のご紹介
患者サポートセンター 新メンバー紹介
8. 医療安全管理者研修ネット聴講のご案内
9. KKR札幌医療センターの理念・基本方針
編集後記



新年度を迎えて

病院長 磯部 宏

連携いただいている諸先生方には日頃から格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度もご支援の程よろしく願いいたします。

さて、新年度にあたり若干の医師の入れ替えはありましたが、大きな診療体制の変更はありません。部長クラスでは心臓血管外科の医師が交代になりましたが、引き続きこれまでと変わらぬ診療を行います。耳鼻咽喉科部長、皮膚科部長は定年により、内部から昇格いたしました。共に指導力のある新部長ですので安心しております。大学からの派遣医師もほぼ従来通りですし、初期臨床研修医も定員通りの確保でした。これまでと同様、そしてこれまで以上に充実した診療を目指したいと思っております。

施設の面では、健康管理センター棟を新築建て替えいたしましたので、健診業務を更に充実させるとともに、肺癌 CT 検診や乳癌検診等の癌検診にも力を注いでいきます。皆さま方のご施設の職員癌検診等も担当できるような広がりを持つてお思います。同時に外来化学療法室も一新しましたので、より安心・安楽な通院化学療法ができることと思っております。

今年度の予定として、まずはハード面では中央診療棟の増築を計画しております。これにより放射線治療装置の休止期間のない更新を行えるとともに、合わせて手術室の増室を検討しております。ソフト面では患者サポートセンターを立ち上げました。これはこれまでご支援・ご利用いただきました地域連携・がん相談支援センターをより拡充・発展させるもので、まずは入院予定患者の入院前支援から開始していきませんが、紹介患者の受け入れや退院・逆紹介患者の支援を、よりスムーズにできるシステムへと少しずつ改変して構築していきます。連携医の先生方に対しまして、これまで以上にお役に立てるシステムになるだろうと思っておりますので、是非ご期待ください。

最後に今年度の当院の目標をお伝えします。これは毎年院長より職員に示される年度目標で、これまで院外に公表されたことはなかったのですが…。

平成29年度医療目標

困っている人たちに手を差し伸べずに、何が医療者だ。

- ・ 地域住民にとって安心できる病院なのだろうか。
- ・ 救急隊にとって信頼できる病院なのだろうか。
- ・ 診療所にとって頼み甲斐のある病院なのだろうか。



事務部長就任のご挨拶

事務部長 鹿渡 寿一

地域連携いただいている機関の皆様には常日頃から多大なご支援を賜り、ありがとうございます。この度、平成 29 年 4 月 1 日付で事務部長を拝命いたしました。

当院は、昭和 27 年 11 月に結核対策病院として、一般病棟 10 床を含む 154 床の病院として誕生し、「幌南病院」の名で地域の皆様に育てていただきました。以来 60 数年の歴史を刻んで、札幌市は人口約 200 万人の大都会となり、周囲の環境は一変し診療内容も時代の変遷と共に大幅に性格を変え、昭和 61 年には結核病床としての使命を終えた同病棟を呼吸不全病棟として改修し、さらに診療科を拡充しながら、平成 18 年 4 月に 450 床の多くの診療科を有する総合病院として、「KKR 札幌医療センター」に改称・新築しました。

その後、平成 21 年 4 月には当院の柱である地域がん診療連携拠点病院と指定され、平成 22 年 8 月に北海道より地域医療支援病院の承認を受け、今日に至っています。

現在、平成 37 年にいわゆる「団塊の世代」がすべて 75 歳以上となる中、生活の質を重視しながら、患者の方々が住み慣れた地域で暮らしていくことを支える「地域完結型の医療」に変わっていく必要があると「地域医療構想」が打ち出されました。

札幌区域では、高齢化率は 25.0%と全道の 28.8%よりは低いものの総人口の減少の影響もあり、将来的には高齢化率は上昇していくと推計されていることから、新たな連携も今後必要になると考えています。

また、平成 30 年度の診療報酬と介護報酬ダブル改定は、医療環境をますます厳しくする中、生き残っていくためには地域の皆様（連携医・患者等）から信頼を得、選ばれる病院を目指し邁進してまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。





新健康管理センター棟のご案内

健康管理センター長 西 浦 洋 一

新緑の候、連携医の先生方におかれましては時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。当 KKR 札幌医療センターにつきましては、日頃より格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当院健康管理センターが 4 月にリニューアル致しましたので、ご紹介させていただきます。健康管理センターは、昭和 39 年に最初は看護婦宿舎として建築され、その後平成 4 年に建物を改修して健診事業を進めて参りました。建物の老朽化が進み、平成 27 年 10 月より健康管理棟建替え工事を着手し、約 1 年 6 ヶ月の工事期間を経て、平成 29 年 3 月に地下 1 階・3 階建ての新健康管理センター棟（以下、新棟）が竣工致しました。健康管理部門は、新棟の 2 階に集約され、健診を受ける方々の導線の確保並びに空調設備やアメニティーを充実致しました。当健康管理センターの業務は国家公務員のドック健診が主ですが、個人のドック健診や企業健診並びに連携医先生方のクリニックのスタッフ健診も承っております。また、地域住民の健康推進を目指して札幌市の各種検診も行なっております。



新棟の他の御紹介ですが、1階は外来化学療法センター（通院による抗がん剤治療）を本館から移設し、9床から15床に増床致しました。入院して抗癌剤治療を受けられた患者さんが、退院後は外来で治療の継続を行っております。3階には病後児保育室を新設して、子育て中の職員の支援を行っております。また、不足していた医師当直室を3室増加、その内1室を女性医師専用とし、すべてにシャワー・トイレを完備致しました。さらに看護実習に来る天使大学や札幌市立大学等の学生のために研修室を2室設けました。地下階には、30～40人参加可能な中規模会議室と札幌市二次救急時などに使うコメディカル当直室を新設致しました。新棟東側にある玄関は風雪除室も備えてあります。ドック健診の方はこの玄関若しくは病院本館の玄関双方からの利用が可能となります。

今後も当健康管理センターに御指導御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



看護部次長就任のご挨拶



看護部次長 大山利枝 (おおやま りえ)

この度、看護次長を拝命いたしました、大山利枝と申します。KKR に勤務しまして 20 数年になります。地域の先生方には、これまでも多くのご指導をいただきながらまいりました。大変感謝申し上げます。

高齢化社会が急速にすすむなか、「病院から在宅へ」患者さんの療養の場は変化してく時代となりました。入院前から、地域の先生方と共に、患者さんの生活を整えるために、チーム医療を展開していくよう努めてまいります。感染制御部の一員 (infection control team) としても活動しております。お役に立てることがありましたらお声掛け頂きますと幸いです。これからは私ども職員が、地域に出て、直接患者さんの生活に触れ、何ができるか、何をすべきか考えていくことが、大事なことだと考えています。

まだまだ若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



看護部次長 佐藤千歳 (さとう ちとせ)

平素よりお世話になっております。このたび、4月1日より看護部次長を拝命いたしました。当院には、昭和の最後のころに助産師として入職いたしました。当時は、分娩数が多かったのですが、産婦人科医師が2名だったため、助産院のような経験をさせていただきました。その後、外来勤務となり、平成12年には、地域連携室でも勤務いたしました。地域の医療機関の皆様には大変お世話になり、地域の先生たちと当院との橋渡しにと走り回っていた記憶がございます。

看護部次長としては、まだまだ力不足ではございますが、地域の皆様から信頼される病院となるべく、知識・技術とまごころを持った看護職員を育てていけるよう努力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介



心臓血管外科 部長 若狭 哲 (わかさ さとる)

この度、KKR 札幌医療センター心臓血管外科部長に赴任いたしました。前任地の北海道大学循環器・呼吸器外科では、冠動脈バイパス術や弁膜症手術、胸部大動脈瘤の手術に加えて重症心不全の外科治療や広範胸腹部大動脈瘤の外科治療等、幅広い心臓血管外科手術に携わってきました。

地域の中核病院として、幌南地区を始め、札幌の東南地区から市内全域・市外を含め、あらゆる患者さんのニーズに対応できる心臓血管外科として、24時間365日対応させていただく所存です。

どうかお気軽にご相談ください。よろしくお願い申し上げます。



心臓血管外科 医長 佐藤 公治 (さとう こうじ)

卒後12年目、心臓血管外科医師の佐藤公治です。昨年までは北海道大学病院循環器・呼吸器外科に所属していました。

専門は成人心臓・大血管でステントグラフトや血管内治療なども幅広くやっていきたいと考えております。大動脈解離や破裂などの臨時手術にも迅速に対応いたします。何かお力になれることがございましたらいつでもご連絡いただければと思います。

これからよろしくお願いいたします。

新任医師のご紹介



消化器内科 医長 曾我部 進 (そがべ すすむ)

前任地は釧路（労災病院）で、6年間地域医療に携わっていましたが、縁あってこの春より KKR 札幌医療センター消化器内科に赴任いたしました。

専門は消化器がんを中心としたがん化学療法で、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医です。当院は外科、緩和ケア科、放射線科と、がん診療に欠かせない各科が充実しておりますし、消化器内科としても消化管、胆膵などの各種内視鏡処置が行える環境にあり、連携医の先生・患者さんのご期待に沿えると考えております。根治不能消化器がんの患者さんがいらっしゃいましたら地域連携センター経由もしくは直接小生へでも結構ですのでご相談をいただけますと幸いです。



消化器内科 医長 松原 悠 (まつばら ゆう)

本年度より KKR 札幌医療センター消化器内科に赴任いたしました、松原悠と申します。

今年で卒後 11 年目になりますが、過去 10 年間は救急医療や地域医療に従事してまいりました。消化器内科一般、特に胆膵領域を中心に修練を重ねてまいりましたので、内視鏡検査などを用いて患者さんの診断、治療に微力ながら尽力したいと思っております。

豊平区は私の故郷であり、自分の経験を還元できることを嬉しく思います。至らぬ点多くございますが、何卒宜しくお願い致します。



緩和ケア科 医長 大場 洋子 (おおば ようこ)

この度、KKR 札幌医療センター緩和ケア科医師として赴任いたしました。

ももとは産婦人科を専門として診療に携わってきましたが、3年前から縁あってチーム医として緩和ケア医療も兼任するようになり、緩和ケアの必要性を強く感じるようになりました。

今後はこの領域を主体に地域医療に貢献できたらと思っております。なにとぞよろしくお願い致します。



緩和ケア科医師 (院内精神科担当) 菊地 未紗子 (きくち みさこ)

この度、緩和ケア科 精神科医として赴任しました菊地未紗子です。

今年で精神科医としては 6 年目になります。初期研修医後、3年間、市立札幌病院で精神科救急やリエゾン、緩和領域を中心に勉強してきました。

その後、俱知安厚生病院で認知症や慢性期の統合失調症、気分障害の患者さんを中心に担当させていただいておりました。

少しでも皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

新任医師のご紹介



耳鼻咽喉科医師 山下 恵 司 (やました けいじ)

この度、KKR 札幌医療センターに赴任いたしました、山下恵司です。

JR 札幌病院と札幌医大附属病院にて初期研修後、帯広厚生病院、函館五稜郭病院を経て、当院に着任いたしました。今年で医師として 10 年目になります。

耳鼻咽喉科・頭頸部領域において、良性から悪性まで幅広く担当させていただいております。皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科医師 安藤 義 崇 (あんどう よしたか)

この度、KKR 札幌医療センター麻酔科に赴任致しました、安藤義崇と申します。

以前にも当院で勤務しておりましたが、再びこちらで働くことになりました。医師になって 10 年目になります。専門は手術麻酔ですが、ICU での集中治療も行っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

患者サポートセンター 新メンバー紹介



長谷川 明 河 (はせがわ あきか)

昨年出産・育児休暇を経て、今年の 4 月から地域連携・がん相談支援センターに復帰することとなりました“長谷川 明河”と申します。

一年ほど現場を離れておりましたが、この度同部署に配属となり再び連携医療機関の皆様や患者様とお会いすることができ、大変嬉しく思います。

当院を信頼しご連絡くださる皆様のご期待に添えるよう、早く仕事のカンを取り戻し、速やかな連携を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



菅原 静 穂 (すがわら しずほ)

この度、地域連携・がん相談支援センターに配属となりました菅原静穂と申します。

私は消化器内科病棟に 7 年、内科外来に 4 年程おりました。病棟・外来間での連携の大切さはもちろんですが、患者様が実際に生活の場としている地域の皆様との連携は更に重要だと感じておりました。

地域の皆様と関われることを心から嬉しく思っています。皆様との情報交換を密に行い、患者様やご家族が安心して入退院できるよう丁寧な対応を心掛けていきたいです。

KKR 札幌医療センター

第 12 回 共済医学会

医療安全管理者研修 ネット聴講のご案内

謹啓 連携医の先生方には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

当院において、平成 29 年 6 月 19 日（月）～6 月 23 日（金）に東京会場で開催されます「第 12 回共済医学会 医療安全管理者研修」の模様をネット聴講する事が決定しました。つきましてはご多忙中恐れ入りますが、ご参加をお待ちしています。

記

開催日：平成 29 年 6 月 19 日（月）～6 月 23 日（金）

場所：KKR 札幌医療センター 第 1・2・3 会議室

内容：プログラムは、

- ① 当院のホームページ (<http://www.kkr-smc.com>) 「医療関係者の方へ」
→「医療安全管理者研修のお知らせ」
- ② 当院のホームページ TOP ページの「病院からのお知らせ」
http://www.kkr-smc.com/medical/iryouanzen_kanrisya.html
から確認できます。
- ③ また、地域連携室にお電話でご確認下さい。

受講料：無料

* 受講は 1 日単位ではなく、時間単位でも可能です。

【ネット聴講の注意点】

- * 講師の都合により放映できないプログラムもあります。
- * ネット聴講のため音声・画質に若干の乱れやインターネットの使用環境によっては映像が一時中断する可能性もあります。
- * 講義終了後に質問時間を設けてあり、遠隔配信会場からも質問することができます。

何かご質問等ございましたら、下記へご連絡ください。

KKR 札幌医療センター 地域連携室

TEL 0120-552-303

KKR 札幌医療センター 理念

「病院は人」のところで、活力ある病院、選ばれる病院を創ります
生命の尊厳を保ち、健康の回復につくします
温かな配慮で安寧（あんねい）につくします

基本方針

1. “生活の質”向上に重きをおく医療を心がけます
2. 安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します
3. 患者さんの声に耳を傾け、分かりやすく説明します
4. 医療の情報を進んで開示します
5. 地域に信頼される医療を目指します

編集後記

桜前線も急速に北上し、ゴールデンウィークが見ごろとなりましたが、連携医の先生方も桜をご覧になったと存じます。北海道の桜は葉っぱと花が同時に開きますので、茶色とピンクの中に緑色が混ざっているアングルが、関西出身の私にはとても不思議な光景でした。さて新年度を迎え、当院も患者サポートセンターが本格的に稼動することとなり、新しいスタッフも加わって地域の患者様が安心して医療を受けられるよう支援に努めております。私が地域連携室に配属されて早1年が経ちますが、慣れない地域連携室業務に思うように調整ができず、連携医の先生方にもご迷惑をかけたこともあります。今も悩んだり落ち込んだりの連続ですが、先生方やスタッフの方々に励まされながら日々の業務に勤しんでおり、周囲の支えのありがたさを痛感しております。そして私もまた、患者様を支える一人としてお役に立てればと思います。

N. F

KKR 札幌医療センター

〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
TEL 011-822-1811(代)

患者サポートセンター

地域連携室 TEL 0120-552-303
FAX 011-832-9624

連携いただいている先生方よりお受けしております。

医療社会事業相談室 TEL 011-832-3260
がん・緩和ケア相談を含む、
医療施設・患者・家族よりお受けしております。

